

みゆきっこチャレンジデー

みゆきっこチャレンジデーとは？

- ねらい** ・ ・ 自分で課題を見つけ、追求していくことで学ぶ楽しさを味わい、主体的に学ぶスキルや・姿勢を身に付けていきます！
- 内容** ・ ・ 興味のある分野を追究する課題、既習したことを実際の場で活用する課題等、児童**自ら課題を考え**、学習に取り組みます！
- 実施日** ・ ・ 毎週水曜日

「自主学习」と「宿題」のちがいは？



- ★「宿題」 ・ ・ 「教師が子供たちに課す家庭学習」のこと
- ★「自主学习」 ・ ・ 「子どもが自ら学習する内容を選んで取り組む家庭学習」のこと

自主学习の特徴

- ①一人一人が自分に合った家庭学習内容を選べるため、学習に対して主体的になれる。
- ②1日の学習、1週間の学習計画について「振り返り」をしながら進めることで、「学び方」を学ぶことができる。
- ③1冊のノート（ふりかえりカード）に努力が積み重ねられ「見える化」されるため、自己肯定感が高まる。
- ④家で自分から勉強する習慣を身につけることができる。
- ⑤学ぶことが楽しくなる。



参考：「自主学习ノートの作り方」 伊垣 尚人著 ナツメ社 （一部文章変更）

自主学习の3つのルール

- ①言われる前に自分から学ぶ！
- ②ノートに書く場合は、「日付」「学習時間」を書く！
- ③ふりかえりを必ず書く！
(ノートやチャレンジの記録用紙に振り返りが書いて、自分の学習を客観的に把握し、コントロールするための「学習のメタ認知力」を高める)



みゆきっこチャレンジデーQ&A

Q：毎週水曜日は、宿題はしなくていいのですか？

A：毎週水曜日は、学校から「宿題」としての課題は出ません。自分が関心のあることや自分に力をつけることなど、やること自体を子供たちが自分で選択し、決定します。

Q：どんなことをすればいいですか？

A：「みゆきだより第2号」や子供たちに配布している「みゆきっこチャレンジカード」に例が載っていますので、ご参考ください。日々の学習の予習や復習などで力をつける「ばっちりコース」や自分の好きなことや関心のあることなどについて追求する「わくわくコース」など、子供たち自ら学びを選択していきます。

Q：自主勉強ノートにするのですか？

A：学びのノートとして自主勉強ノートを活用すること、学びの足あとを積み上げることも素敵ですね。学び方は、ノートでの学習だけではないので、例えば、「なわとびにチャレンジする」「家族の夕飯を考えてつくる」などのような学びもあるかもしれません。ノートに残すかどうかその時の学びによって子供たちが選択して、工夫できることを期待しています。

Q：何を学んだのか分からないのではないですか？

A：子供たちに配布した「みゆきっこチャレンジカード」に、その日のめあて（学んだこと）とふりかえりの記録を残していきます。自分を客観的に振り返ることで、学習のメタ認知力を高めたり、積み上げた学びを「見える化」することで自己肯定感を育んだりできます。ふりかえりは、年間を通して残していきます。

Q：水曜日に限らず、やっています。

A：自主学習の習慣が身に付いていて素晴らしいですね。水曜日は、学校全体として、「宿題」は出さず、子供たちの選択した学びをする日として設定します。しかし、それ以外でも、日々「宿題」+「自主学習」をしている子供たちもいます。自分の学びの足あととして、水曜日以外の学びも「ふりかえりカード」に残してください。自分のがんばりの記録であり、周りはその記録から評価の言葉をかけることができます。自分ががんばったことの「見える化」が、自信ややる気につながります。

Q：ふりかえりにはどんなことを書けばいいですか？

A：「日付」「めあて」「ふりかえり」「お家の方からのサイン」を書きます。「ふりかえり」は、学んだことを後で振り返ることができるように、具体的に書くといいですね。「新しく発見したこと」や「自分の納得したこと」など+「自分の感想や考え」などを残しておく、次の学びの参考にもなります。また、中には、継続した学びを計画する子供たちもいるかもしれません。「ふりかえりカード」の「めあて（内容）」を先に計画して、見通しを持った「学習カレンダー」として活用する方法もできます。



「学ぶことが楽しい！」と感じる子供たちの学びづくりにチャレンジしていきましょう。ご協力よろしく願いいたします。